



# 玉津のふくし



発行

守山市玉津学区  
社会福祉協議会  
広報啓発部会



## 第2回サロンボランティア活動講座

11/6(火)

参加者 35名



「考える防災教室」と題して、大阪ガス(株)佐藤さんの講演がありました。

講演は台風や地震などの自然災害で暮らしを支えるライフライン(電気・ガス・水道等)が突然止まってしまった時に身近なものを使って災害を乗り越える方法を考えました。①ガスが止まってガスコンロの火で調理ができない時 ②食器が割れて料理を入れる容器がない時 ③夜寒くて寝られない時を想定し、

自分たちだけでどうすれば災害を乗り越えられるか、参加者全員で考え意見を出し合いました。

災害はいつ何時起きるかわかりません。「備えあれば患いなし」と言います。今回の講演で知恵と工夫で自分なりの方法を見つけることこそが、いざという時に役立つことを改めて実感しました。



## 学区社協館外研修

10/25(木)

参加者 21名

岐阜県垂井町表佐地区へ“ささえあい連絡会・ちょっとサポート活動”について研修に行きました。まず、垂井社会福祉協議会の方から、ささえあい連絡会を立ち上げたきっかけや活動の経緯について話を伺いました。地域の福祉課題を地域の人それぞれが共有し、共に協力し合って解決していけるような組織づくりが必要であることから設立し、声かけや見守りパトロールをされているそうです。

また、日常での困りごとや寂しさを“ちょっと”お手伝いする活動をされています。依頼が少ないそうですが、「対策を考えながらこれからも活動を続けていきたい」と表佐地区の会長は話をされていました。地域の見守りの大切さを感じた有意義な一日となりました。



## 赤い羽根共同募金街頭啓発活動

11/5(月) おうみんち

11/13(火) モリーブ



赤い羽根共同募金の街頭啓発活動を民生委員・児童委員と福祉協力員が行いました。

募金をいただいた方々のご協力に感謝しながら活動を行うことができました。

ありがとうございました。



# 自治会すこやかサロン



## 赤野井自治会

10/16(火)  
参加者 53名



恒例の赤野井町の「高齢者すこやかサロン」が開催されました。今回は 80 回目の開催です。先輩のみなさんに感謝しながら今日のサロンは楽しく元気の出る内容でした。

最初に自治会長、玉津会館長から丁寧な挨拶をいただきました。

午前中は、守山市社会福祉協議会の川嶋さんから、今年7月の西日本豪雨の災害支援の報告の後、地元的美濃部さん指導のもと、座ったままでできる体操を楽しみました。昼食は手づくり弁当をおいしくいただきました。午後からはマジック、民謡（どじょうすくい）の踊りなどで会場は盛り上がりました。

笑顔が絶えない有意義なひとときを過ごし、いつまでもお元気でと思いつつ会を閉じました。



## 矢島自治会

10/24(水)  
参加者 76名

第 64 回矢島すこやかサロンが開催されました。ゆいの里の栄養士さんの指導のもと、ボランティアの皆さんの手作りのお弁当をいただきました。昼食後は、保健師さんより風邪をひかないための食事や生活習慣についてのお話があり、冬に向けての健康管理について学びました。

お話の後には「カリノ パーバル フラスタジオ」の皆さんによるフラダンスが披露されました。鮮やかな衣装を身にまとい優雅なダンスに会場は華やかな雰囲気につつまれました。手の振りを教えていただき、一緒に踊ることができました。フラダンスを身近に感じ、和やかな時間を過ごしました。



## 民生委員・児童委員県外研修

10/28(日)~29(月)  
参加者 11名



玉津学区民生委員・児童委員は鳴門市の大塚美術館とドイツ館を訪れました。大塚美術館では、古代壁画から現代絵画まで 1,000 余点の陶板名画を鑑賞しました。

ドイツ館は、第一次世界大戦後 1917 年にドイツ兵約 1,000 人が徳島の坂東俘虜（ばんどうふりょ）収容所に送られ、そこで過ごした3年間の生活や坂東の人々との交流の様子を展示した資料館です。その収容所は私たちの思い描くイメージとは異なり、所長はドイツ兵の人権を尊重し自主的な活動を認めていました。坂東の住民は、ドイツの先進的な技術や音楽、文化、スポーツなどを取り入れ友好を深めたそうです。芸術、歴史、文化に触れ学びの秋となりました。

